

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山商業高等学校
学校番号(26)

評価実施日	平成30年2月27日(火) 15:00~16:30		
委員	氏名	所属等	備考
	金井マキ	旭町自治会役員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	楠本雅人	松山市教育支援センター教育指導員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	藤島寛昌	ローブウェイ商店街「ギャラリー絵夢」社長	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	好岡昭子	主婦	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	藤岡大輔	ホルモン村二番町店代表	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	田中雅樹	全日制PTA副会長	学校関係者評価委員

全日制

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートでは分かる授業を心掛け工夫をしている教師100%、授業の内容がよく理解できる生徒82%と授業の評価は高くなっているが、さらに分かる授業の工夫をお願いしたい。 ICT機器の効果的な活用をさらに研究してもらいたい。 検定の結果の資格取得はすばらしい。 <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 進学、就職ともにほぼ100%生徒の進路希望を実現できていることは、すばらしい。 生徒の進路指導における松商独自の就職先開拓、進学先開拓があればよい。 1000日実習で実習している生徒を社長が見て、就職先に社員として雇用したいという声もあり、すばらしい。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃や後始末ができない生徒が多くなっている傾向にあるので、清掃の仕方を丁寧に指導し、師弟同行で先生は生徒とともに汗を流して実践してもらいたい。 <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 運動会や文化祭など学校行事は、生徒の楽しそうな姿を見るとうれしい、すばらしい。 <p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> 中予の県立学校の志願者の倍率に安心するのではなく、魅力ある学校となるようさらに、努力してもらいたい。 世の中は、普通科志向であるが、松商はよくやっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板等のICT機器の効果的な活用方法について、さらに研修に努め、授業に取り入れる。 資格取得に対する生徒の意欲を喚起するとともに、補習授業等の充実を図る。 職業人育成につながる活動をさらに充実させ、生徒の希望する進路の実現を図る。 地域ビジネス科の新学科を中心に、地域との連携をさらに強める。 清掃の意味を理解させ、自ら率先して活動できることが重要であることをあらゆる機会を通して生徒に徹底する。 生徒が学校行事に主体的に取り組めるよう、さらに創意工夫を図る。 地域で必要とされる学校となるようさらに、ホームページや、パンフレット等で保護者や地域への情報発信に努める。

定時制

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<ul style="list-style-type: none"> 一人一人が複雑な学習履歴・生活履歴を持ちながら入学する時代となっている。多様な個性に粘り強く対応してもらいたい。 学校と家庭との連携について今後どのように工夫していくか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在本校定時制課程では在籍生徒数が少なくなっているが、その分日々生徒観察を十分に行い、必要に応じて個別面談をする体制ができています。これからも一人一人に寄り添う指導を心掛けたい。 家庭との連携については、プリントやホームページで行事を事前に周知し、行事を報告することで学校への関心を高めたい。